

なら生協連 ニュース

奈良県生活協同組合連合会

No. 27

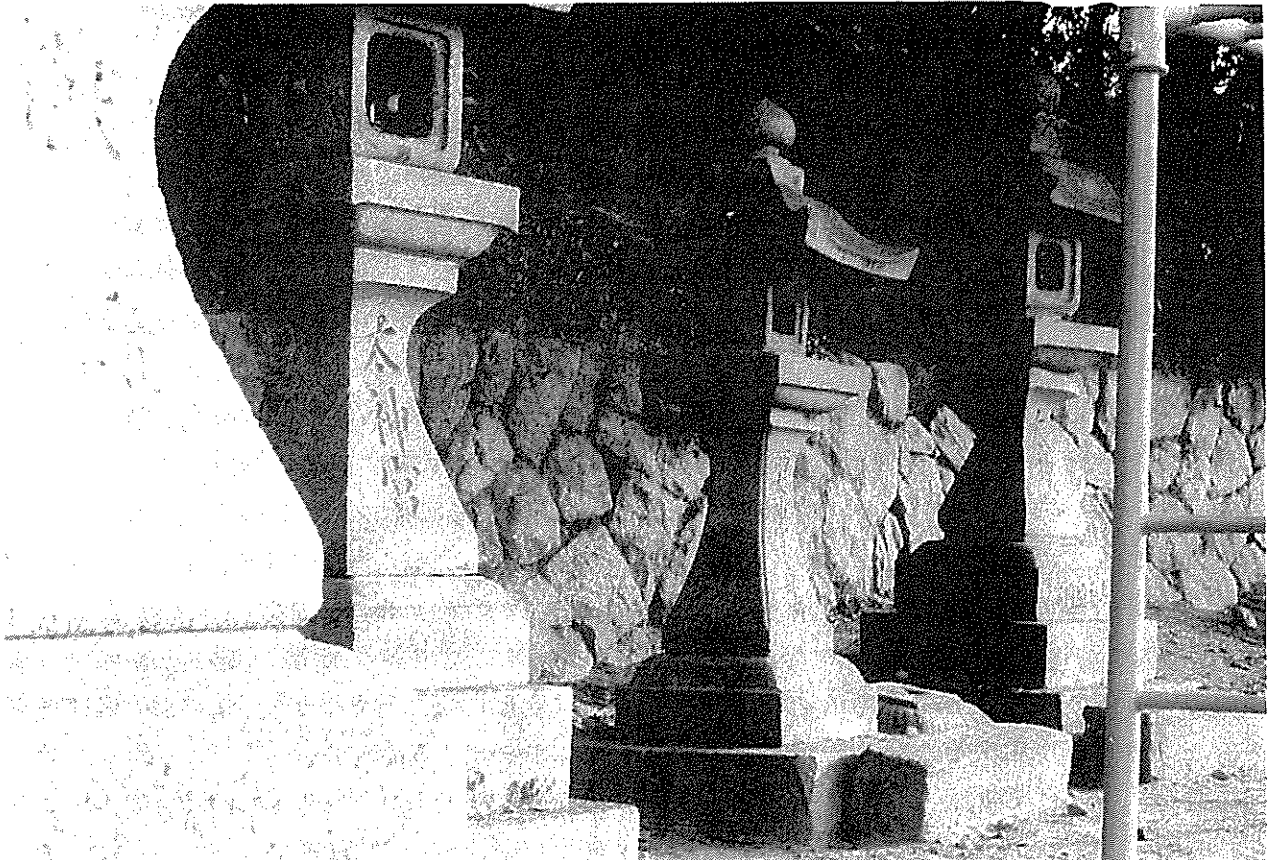
奈良市恋の窪1丁目2-2 ならコア気付

98. 1. 1

TEL (0742)34-3535

FAX (0742)34-0043

山の辺の道を歩く PART-12



<おかげ灯籠> (写真中央)

舞台は少し戻ることになるが、環濠集落にはいる少し手前、萱生町に近世変革期の名残をとどめた重要な所があるので是非ふれておきたい。

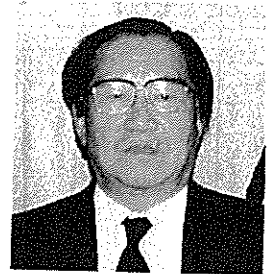
近世日本において伊勢神宮に集団で参拝する運動が何回も繰り返された。これを「おかげまいり」と呼んでいる。その最盛期にあたる明和8年(1771年)には関東から北九州に至るほとんどの地域から約200万人もの人々が伊勢へ伊勢へと駆けつけた。

この萱生の集落の小さな天満宮の中に「おかげ灯籠」と呼ばれる小さな灯籠が残されている。銘によれば明和8年(1771年)、当時もいまま70戸位のこの集落から実に147人もの人達が「おかげまいり」に馳せ参じた。その記念にこの灯籠を建てたのである。変革期の民衆の熱気をしのばせるに余りある。

年頭のあいさつ

他山の石を肝に銘じ 寅歳を迎えよう

奈良県生協連会長
繁田 實造



奈良県生活協同組合連合会の下に結集しておられる組合員のみなさん、なんらかの関係で県連と繋がっておられるみなさん、あけましておめでとうございます。みなさんの中には今年こそはとの思いで新年を迎えられた人も多いことと思います。

ところで、今年の干支は寅です。手元の故事ことわざ事典をみますと、虎にちなんだ多くの項目が並んでいます。新年を迎えるにあたり、それらを読んでみましたが、それらとは別に、奈良では信貴山の虎が有名です。言伝えによると、聖徳太子が信貴山で戦勝祈願をしたところ、毘沙門天が現れて必勝法を授けたとのことで、それは丁度寅の年の寅の日、寅の刻であったとのことで、天神さんの手、お稲荷さんの狐と同様に、信貴山朝護孫子寺ちようごさんしじの神獣は虎となっています。新聞によると、今年は、その虎が二匹の子虎をつれて、初詣の人々を迎えるとのことです。われわれも信貴山の虎に負けないように、今年もさらに組織を拡大し、お互いに連帯を強め、お互いに地力をつける年にしたいと願っております。

願ますと、昨年は大変な年だったといえます。その正否は別として、景気よく打ち上げられた行・財政改革の声はだんだんと小さくなり、消費税や医療費自己負担分のアップ、預貯金金利のダウンが消費者の生活に深刻な影響を与えており、北海道拓殖銀行、山一証券、日産生命な

どの経営破綻がバブル経済のツケということ
で、国民の両肩に重くのしかかってきました。

生協戦線を見ましても、北海道や東京での生協の苦戦が伝えられ、大阪でも生協原則を著しく逸脱した生協のニュースが大々的に伝えられました。奈良県は大阪府に近いだけに多くの人々の関心を集め、よもや奈良の生協はと疑いの目で見られ、逆に多くの激励の声をいただくなど、他生協の悪い意味での影響を大きく受けた一年でもあったといえます。

われわれの奈良県連加盟の各生協は、お互いに地道に、お互いに連帯し、協力しあって、着実に発展しつつあることを、昨年末の県連理事会においても確認しあいました。しかし、昨年○の新聞に報ぜられた事件を、あれは他生協のことで、われわれとは関係のないこととしないで、他山の石として重く受けとめ、お互いに自戒して、組合員のために行動することを、新年にあたりお誓い申し上げます。

最後になりましたが、奈良県生協連の設立に際し、また設立後の県連の運営のためにいろいろと協力していただきました「おやさと生活協同組合」が、その目的を達成し約 46 年の歴史をもって解散されました。奈良県において最も早く設立された生協として、また奈良県生協連における数々の貢献に対し、絶大な賞賛と感謝の拍手を贈り、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしく お願いいたします。



作/事務局
編集/OfficeTEN

あ
開く、
生協理
念・ビ
ジヨン
瀧川専務
かるい未来

ま
る協
同・
連帯
の輪
茶田会長
すます広が

う
まれて死すま
で、共済で守
る家族の生活
右手副会長

と
う設立、あ
と一步。募
金目標にも
う？歩
仲宗根
理事
くよ

で
んとうの 奈
良女に男女協
同参画
小林理事

め
取るで
う、学
生の行
動提起
津田理事

お
んだん
か防止、
未来の
子供達
のため
に
足田理事

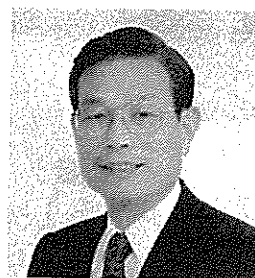
け
んれん
活動、
単協活
動が盛
り上げ
る
入口
事務局長

し
んき一転、ア
イデア勝負で
経営改善
小林理事

て
くのろ
じー、駆
使して守
ろうエコ
ロジー
桐川理事

21世紀に飛翔する 県づくりに決意新た

奈良県知事 柿本 善也



奈良県の生協組合員の皆様、明けましておめでとございます。

平成10年（1998年）の年頭に当たり、まず、わが奈良県の繁栄と組合員の皆様のご多幸を、心からお祈り申し上げます。

また、奈良県生活協同組合連合会及び各組合の皆様には、平素から県政の推進にひとかたならぬご支援・ご協力を賜るとともに、県内各生協の健全な運営にご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

21世紀の鼓動を感じながら、私も、これからも信頼とふれあいを大切に、新しい世紀に飛翔する奈良県づくりに最善を尽くす決意を新たにしております。

今後の財政運営は、かつて経験したことのない厳しい状況になると思われませんが、財政構造の改革を図り、限られた財源を優先度の高い施策に充当できるよう厳しく選択のうえ重点的に配分し、併せて、行政改革のさらなる推進を図ってまいります。

こうした現状を踏まえつつ、私は、新総合計画を基本に、だれもが安心できる住みよい郷土と本県の特性を生かした存在感のある地域を築いていくため、鋭意努力を積み重ねております。

奈良県の将来像の実現を目指し、今年は、「快適の奈良県」づくりの施設として、空の公共交通基地となる県ヘリポートの開港、国道168号宇井バイパス（トンネル）などの開通があります。

また、「福祉の奈良県」に沿う施設として、住みよい環境づくりを実体験をしながら考えていただく「県営福祉パーク」が開園するほか、県立で二つ目の身体障害者療護施設も開所します。

「交流の奈良県」としては、平城宮跡の朱雀門・東院庭園の復原を記念するイベント「平城京'98」を開催し、同宮跡を中心とする「歴史・文化国際交流ゾーン」の形成に向けての機運をはぐくんでいきたいと思っています。

今日、わが国経済社会が、国際化、サービス化、急速な高齢化、地球環境問題などの進行していく中で、消費者ニーズの多様化に応じるという観点から、生協の役割はますます重要になり、また、組合員はもとより、生協活動に対する県民の期待も一段と高まってきております。

今後も、組織の充実・発展に伴い、組合員による文化・福祉・環境保護などの諸活動を通じて、豊かで住みよい郷土づくりにご尽力いただくよう期待いたします。

県といたしましても、より多くの方々のご意見を取り入れ、活力ある奈良県づくりに努めてまいりますので、いっそうのご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、奈良県生活協同組合連合会及び各組合の、今後ますますのご発展並びに皆様方のご健勝・ご多幸を祈念して、新年のごあいさつといたします。

わが生命 真清水の如くに

奈良県地域婦人団体連絡協議会
会長 青木 藤枝



生協のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

1998年！ 明けゆく陽の光が静寂の中に厳かに耀いています。

まっすぐに天に向かって伸びる杉木立、樹齢千数百年の木々の語らいが私の耳に聞こえてまいります。藤原鎌足と中大兄皇子(天智天皇)のひそやかな足音が山を越え、谷を渡って近づいてきます。御破裂の山が鳴り響く時は国難の知らせとか、古老の話に耳を傾けながら土の香のする曲折する道をゆっくりと歩きつつ、1,300 数十年前の古代人の息吹きに触れ、素晴らしい文化を、そして様々な知恵を発揮しての大化の改新、13~14 メートルもあろうかと思われる十三重の塔、数々の歴史を秘めて悠然として建つ姿に、美の極地を感じます。雪の多武峰、秋の紅葉、春の桜、夏の涼風、夫と共に訪れる多武峰は、私の心を洗う場所なのです。

司馬遼太郎氏の「街道をゆく」にも出て来るゆかりの多い土地で、若くして逝かれた六條篤氏(歌人・画家)のたたずまいが、昔の面影を残しているのも印象的でした。郷土の人達さえ知ろうとしなかった清冽に生きた芸術家の思いが、くれないの紅葉となって秋の多武峰を埋めつくすのかも知れません。

しかし、この秘境にも公害は押し寄せ、谷間を流れる真清水は汚染され、小石にたわむれる

沢蟹も見られなくなりました。都市化の波は容赦なく自然破壊をしています。

悲しいことです。淋しいことです。この姿がわが愛する地婦連の姿に似ているように思えるからです。私達地婦連は、日赤奉仕団・奈良県健康を守る婦人会の三つの顔をもつ団体です。同和学習、消費者学習、女性問題学習、青少年問題学習、環境問題に取り組んできました。険しい道をあえぎつつ歩いた足跡。重油流出のように、どろどろとした水質汚染の如くに人々の心を奪っていくような社会の中で、県地婦連も50周年を迎えました。

地婦連の半世紀です。と同時に、「国連人権教育十年」の4年目にあたる重大な年でもあります。私達は、同和教育こそ人権教育だと思っています。あらゆる差別をなくすための努力を続けています。あらゆる差別(女性問題・外国人高齢者問題・障害者問題)をなくし平和な世の中を築くため残された生命を燃やし続けています。

湧きいずる真清水の如く全会員がお互いの暖かい血の流れを確かめ合いながら、21世紀に向かって飛躍する決意であります。

生協のみなさま、みなさま方の若い生命の躍動をご期待申し上げます。みなさまの幸多き事をお祈り申し上げます。

住みよい地域づくりに 共に頑張りましょう

新年、あけましておめでとうございます。

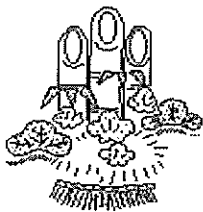
生協のみなさんの活動は『食』についてはもちろんのこと、平和問題や、環境、福祉など多彩に展開されています。今後もますます発展されることを心よりご期待いたします。

さて、私ども奈良県青年団協議会は、昨年度結成50周年を迎え、この50年を大きな節目として、さらなる活動の発展を決意新たにいたしました。

青年団活動は、地域ごとの青年たちで構成し、クリーンキャンペーンや祭りなど、地域に根差した活動や、スポーツ、文化活動、交流会、社会問題に取り組むなど、実に様々な活動を行っています。

そして、その取り組みの中で、年齢も仕事も趣味も異なる青年が集まり、地域や社会に視野を広げ、なかま同士つながりを深め、互いに学び合えるような関係、環境づくりを進めています。

新年最初の事業は、1月17日（土）にいじめ問題をテーマにしたパネルディスカッションを予定しています。



奈良県青年団協議会
会長 小林 信子

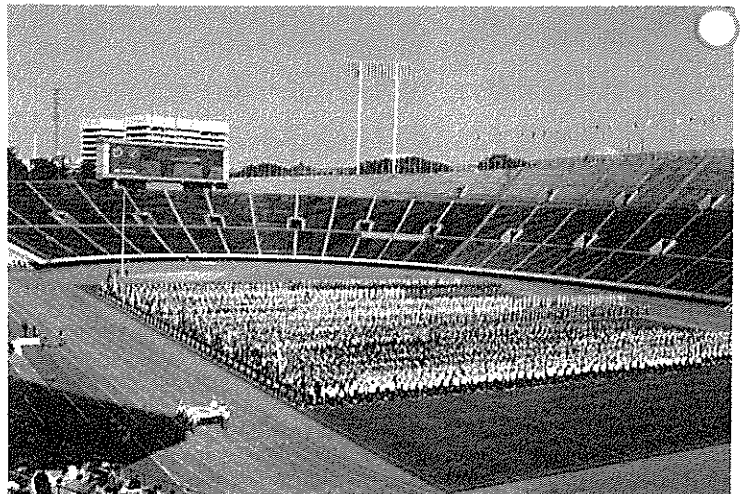


皆様もよくご存じのよ

うに、いじめは深刻な社会問題です。市町村の青年団には、子どもを巻き込んだ事業（キャンプやスポーツ、クリスマス会など）を行っているところがたくさんあり、自然に子供と青年、地域がつながり、いじめを予防する活動になっています。そうした実践を出し合い、私たち青年団のような社会教育団体が果たす役割を確認できる集会を目指しています。将来を展望した時、必ずしも無関心ではられないいじめ問題に是非とも皆様もご参加ください。

事業のPRをしてしまいましたが、住みよい地域づくりに取り組んでいるのは、生協のみなさんも私たちも同じ、今後も共にがんばって行きましょう。

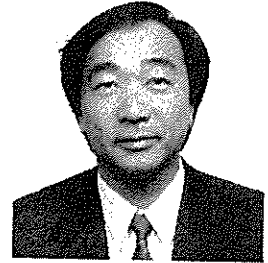
今年もよろしく願いいたします。



全国青年大会に出場 あこがれの国立競技場を入場行進

新たなる希望

奈良YMCA国際・地域奉仕センター
所長 藤井 辰男



明けましておめでとうございます。奈良県生協連に連なる皆様には、恵み豊かな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

奈良YMCAが奈良県生協連の方々と平和の創造に向けて協働できますことを深く感謝いたします。そのきっかけとなりましたのは、1994年、中国残留婦人をテーマにした演劇「再開」（主催奈良公演実行委員会）の開催においてご後援をいただいたことでした。奈良YMCA内に事務局を設け、実行委員として奈良県生協連を尋ねさせていただいたことが初めての出会いとなりました。

また、1995年より奈良YMCA主催の第11回反核・平和のつどいに共催としてご協力いただきました。その後、市民生活協同組合ならコープが開催されている「市民平和のつどい」「ノーモア・ウォーのつどい」への後援、参加、「自然災害に対する国民的保障制度を求める県民会議」署名活動への参加等、奈良YMCAにおきましても、新たな連携を図る機会ともなりました。

昨年、私達に新たな希望が与えられた重要な事がありました。10月10日、地雷廃絶国際キャンペーン(ICBL)とコーディネーターのジョディ・ウィリアムズ氏がノーベル平和賞を受賞したことです。世界約70カ国に埋設されている地雷の数は1億2千万個以上と言われており、毎年26,000の人々が世界のどこかで犠牲になっています。ICBLはこの悲惨な状況に対して、対人地雷を全面禁止する世界的運動として展開されています。このICBLと連携する日本のネットワークとして、東京YMCAが準備会事務局を努め、他のNGO等と

の協働により、7月に地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)が設立されました。その折、他団体とともに全国のYMCAでも署名活動を行いました。

ノーベル賞委員会の受賞理由は「将来、同じような取り組みのモデルとして、軍縮、平和への国際的な努力の先例となりうる」ということです。世界60以上の国々が1,000を越えるNGO等の連携によって運動を推進したことが世界を動かす力となったのです。

又、同じく地球温暖化防止・気候変動枠組み条約第3回締約国会議(COP3)の成功に向けて、市民、NGO等が連携し運動を展開しています。

これらの世界的運動が終りではなく、これからのスタートであることと認識し、小さな力が大きな力となる為、市民、NGOによって連携を図ることが大切だと思います。これらの市民運動によって世界が変革されるという新たなる希望を持って歩み続けていきたいと願います。

これからも、様々な運動を通して、奈良県生協連の皆様と共に協働していくことによって、この希望を実現していけるものと確信いたします。

協同組合フェスティバル

ならコープ主催、県連共催の第10回協同組合フェスティバルが10月26日（日）に奈良ドリームランドで開催され、家族づれなど約3万人の人出で賑わいました。

来賓として、県からは川内係長、青山主査、JAから米田主任のご参加をいただきました。また今年初めて、奈良県知事、奈良市長、奈良県協同組合連絡協議会委員長からメッセージを頂きました。駐車場や入場料が無料ということもあり、かつてない参加人数になり、各模擬店も早い段階で売り切れが続出しました。



● 第10回協同組合フェスティバルに参加して ●

奈良県林業女性グループ連絡協議会

会長 田合 チエコ

この度の催しが10回目という記念すべき年に、奈良県林業女性グループが初めて参加させて頂きましたことを感謝しております。いつもは山村での小規模な催しの経験しかない私たちには、今回のようなスケールの大きい協同組合フェスティバルでのにぎわいは只々驚きと感動でいっぱいでした。私たちも新鮮な生シイタケや柿、心を込めた手作り味噌等を出展させて頂きましたが、日頃から消費者のためにより安く安全な商品の斡旋に努力されている生協グループにこれだけ多くの人達が関心を寄せていることを改めて認識すると共に私達自身も大変有意義な体験をさせて頂きました。

当日お世話くださいましたスタッフの方々に厚くお礼を申し上げます。



福祉

ひまわり号列車

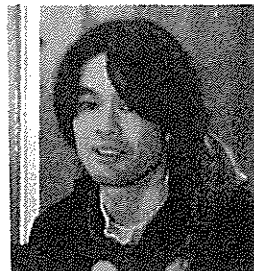
11月2日 第9回ひまわり号列車が総勢350名の参加で神戸へ向かいました。現地のボランティアの暖かい出迎へと、仮設住宅の皆さんとの交流、港めぐりや海洋博物館・ポートタワー見学等、それぞれの思い出をつくって帰路につきました。

今年は県連から9名のボランティア参加があり、夕刊の記者としても活躍しました。また、ならコープ職員からの募金は55,805円となりました。



●今年も「ひまわり号に乗る」予定、すでに決定！●

ならコープ 北部支所 松澤 英之



趣味の写真が役に立つならば、と参加したひまわり号ボランティアでしたが、実際は車椅子の方の介助とのこと。車椅子すら触った事がない自分にできるのだろうかと不安でしたが、逆に気を遣っていただいたき無事に神戸1日旅行を終えることができました。

介助をして、普段の生活では気にも止めなかつた電車とホームのすき間や段差（奈良駅ではすね位の高さ）にとまどったり、少しの輪だちや点字ブロック等で立ち往生してしまうことを知り、改めて全ての人に優しい生活環境とは何かを、考えさせられました。でも何事も体験、もしこの先車椅子の方がいらっしゃったら気軽に介助する自信がついたしこの先毎年、みんなの夢を乗せて走るひまわり号に乗るという予定を入れることが出来ました。



「予定は未定」ではなく、「予定は、入れてこそ予定」、来年はみんなで一緒に走らせましょう。

環境

全国列島縦横エコリレーの取組み

国連気候変動枠組み条約第3回締約国会議（COP3）が京都で12月1日から開催されるに当たり、削減議定書を実効性のあるものにするためにNGOの行動が非常に大切でした。そこで、ならこぼにおいて、COP3実行委員会を立ち上げ、京都会議に向け多彩な取組みを行ってきました。そして、全国NGOの1つのアピール行動として、全国六コースを自転車で走ってつなぎ、市民に地球温暖化防止を呼びかけるとともに、自治体の長や団体からメッセージを集める行動が提起されました。生協連として、この行動に積極的に参加することと

し、各種団体への働きかけを行ってきました。そして、連合を事務局団体とする5つのNGOが実行委員会に参加し、行政を含む13の団体に後援をいただきました。県内リレーは11月26日～28日の3日間、2つのコースにわかれて19の自治体を回りました。全体で延べ200台、生協連で延べ32台のパレードとなり、集結集会として開かれた「環境フォーラム'97」へは310名の参加がありました。また、議長への要請書署名は自治体33筆、団体23筆となりました。



こぼ地球環境フォーラム

地球温暖化防止京都会議期間の12月1日（火）日本生協連、京都府生協連、京都生協主催で京都の北文化会館で開催されました。ダニエル・カール氏の講演、ならこぼや各生協での活動報告等、全国75生協、NGO、一般参加者含め550名の参加がありました。

12月2日（水）第3部学習会として宮本憲一氏の「日本の環境政策の展開とCOP3」というテーマで講演があり、400名近い参加がありました。

ならコープCOP3プレ企画

10月20日中小企業会館において、摂南大学薬学部の宮田秀明教授による「気になるダイオキシン」と言うテーマで、専門的な内容で講演いただきました。当日参加は126名あり、市の職員等行政の参加も目立ちました。

河瀬直美記念公開講演会

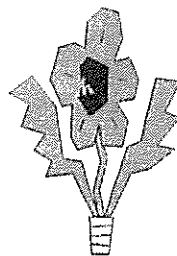
11月7日奈良市史跡文化センターにて「奈良・自然・自分探し」を語っていただきました。また、COP3実行委員会による地球温暖化問題をテーマにした寸劇がありました。



***** エコライフ17万人の誓い「ならコープ宣言」 *****

COP3開催を契機に、地球温暖化防止の為に自分達のできることを「ならコープ宣言」として組合員によるCOP3実行委員会でもとめ、これからの暮らしの中の行動の指針とすることになりました。

- 一 暮らしの中から省エネルギーを実行します。
 - ・使わない電気器具はこまめに消しましょう。
 - ・省エネタイプの製品を積極的に使いましょう。
 - ・冷暖房は適正温度に設定しましょう。
- 二 ごみの減量・リサイクルをすすめます。
 - ・牛乳パック・びん・缶・PETボトル・トレーなどは分別し、リサイクルしましょう。
 - ・簡易包装の商品を選びましょう。
 - ・いつも買い物袋を持参しましょう。
- 三 水を大切にし、生活排水に気をつけます。
 - ・台所から油を流さないように努めましょう。
 - ・洗剤は適量を使用しましょう。
 - ・風呂の残り湯を洗濯に使いましょう。
 - ・歯磨きの時は、水の出しっぱなしをやめましょう。
- 四 環境のことを考えて商品を選びます。
 - ・環境に配慮した商品や再生商品を利用しましょう。
 - ・旬のものを食べましょう。
- 五 マイカーの使い方を見直します。
 - ・近所への外出は徒歩や自転車を活用しましょう。
 - ・遠出をするときは、公共交通機関を利用しましょう。
 - ・人を待つときや荷物の積み降ろしの際は車のエンジンを止めましょう。
- 六 地域でできることを考え実行します。
 - ・リサイクルを地域のひととともにすすめましょう。
 - ・地球温暖化などの環境問題について関心を持ち、学習し、広めましょう。
 - ・行政や企業にも働きかけ共に考えていきましょう。



広がる協同・くらしの輪

地球温暖化防止 シンポジウム

11月1日橿原文化会館に於いて県環境フォーラムの主催で開催されました。約150人の参加がありパネリストとして仲宗根迪子理事も参加しました。



色めしフェア

1月16日 桜井まほろばホールに於いて「色めしフェア」が奈良食文化研究会主催、ならコープ等多数の団体の協力で開催され約170人の参加がありました。桜井女子短期大学南 幸教授の講演や28種類の炊き込み御飯の試食を行いました。

県JA大会

11月19日 農協会館に於いて「県JA大会」が農家の代表ら約330人が参加されて開催されました。

「奈良県単一JA構想」の実現をテーマに、平成11年4月発足に向けての取組みが確認されました。

県生協連から右手副会長が連帯の挨拶をのべました。



近畿2府7県行政合同 災害・防災訓練



11月20日 近畿2府7県行政合同災害・防災訓練がけいはんな記念公園周辺等で行われ、約20,000人の参加と車両938台、航空機33機等本格的な訓練でした。

近畿府県の生協連も協定に基づき奈良県連からは3名が参加しました。

生協・行政協議会

11月27日16時から共済会館やまとに於いて行われました。繁田会長から県民生活課北岡四郎課長に98年度にむけての要望書をしてわたしました。



大学祭

今年度は以下の日程で行われました。

- ▼10月18～19日 樟蔭女子短期大学
- ▼10月31～11月3日 奈良女子大学
- ▼11月7～9日 奈良工業高等専門学校
- ▼11月8～9日 奈良県立商科大学
- ▼11月13～17日 奈良教育大学



97 ノーマア・ウォーのつどい

12月7日「97 ノーマア・ウォーのつどい」がならコープ主催、わかくさの会共催で、ディアーズコープたつたがわに於いて開催されました。のべ223名の参加者があり、浜田博生先生の模擬授業や、留学生の話しと午後にはアニメ映画「マヤの一生」の鑑賞等で平和について考えました。

樟蔭の小林になりました

樟蔭女子短期大学生協 小林和美

昨年9月1日付で樟蔭女子短期大学生協へ出向になったということで、久しぶりの現場です。正規職員は私一人、あとは元気なパートさん達12名と一緒に仕事をしています。人の波を読み違えてご飯を切らして、大学の教職員に「すみません」。一言カードで入れると言ったが物が入らず、学生に指摘されて「ごめんなさい」。ここんところ人間が謙虚になったような気がします。連帯の力添えて、念願の学生委員会ができました。主力は1年生のかわいい3人娘です。大学祭で稼いでセミナーに行こう！彼女達は連帯が大好きです。「小規模でも大規模と同じサービス」は私が樟蔭女子短期大学で生協の設立の話をさせてもらった時に自ら口にしたことですが、自分でやってみて言うほど楽ではないというのが実感です。まあマニュアルの多いこと、紙のおおいこと！何事も勉強だと思えばいいのでしょうか時間が足りない。時間は作るものだ！そのとおりです。が… 大学から「うちの規模で生協を成り立たせないと、次に広がらないだろう」「おっしゃるとおりです」。生協は作った後が本番です。教えを乞うたり商品を回してもらったり、いろいろお世話になっている奈良女子大生協、奈良教育大生協、京大生協ルネのみなさん、連帯の学生のみなさんにこの場を借りてお礼申し上げます。

つながる連帯・友好の輪

奈良教育大学生協

12月1日より念願であった食堂厨房の改装が始り、これにともない食堂部・購買部は学生会館の1階談話室で2月末まで仮営業を行なっています。学生の中からは「どんな食堂になるのかな」「楽しみだな」といった声も聞かれ、組合員の大きな話題となっています。新店舗はカフェテリア方式で、これまで提供できなかったコシのある冷凍麺や丼の提供、更にはサラダバーの実施など、きっと喜んでいただけるものと考えています。(疋田 専務理事)

労済生協

「生命・損害保険料控除制度拡充のための署名活動」の結果報告について

標記の署名活動につきましては、組合員の皆様のご理解、ご協力をいただき、10月1日から31日までの1ヶ月間にわたり、実施致しました。その結果、全国で3,005,059名(奈良県17,023名)の皆様のご署名をいただくことができました。厚くお礼申し上げます。

近年の、少子・高齢化の進展を背景とした年金・医療・介護等の公的社会保障制度における国民負担の増加傾向の中で、同控除制度が果たす役割の重要性は一層高まってきているといえます。こうしたなかで、全労済は、保障の生協として、生活者や組合員の暮らしの保障を追求し、守っていく運動を続けていく所存です。

(辻井事業推進一課課長)

奈良県立商科大生協

全国II部生交流会を商科大で開催

当生協ができて3年。設立当初は全国の学生委員交流会に参加者として加わるだけでしたが、ようやく開催校に名乗りをあげる事ができるようになりました。

会場の手配から、大学との渉外、宿泊の手配や食事の手配となれないことばかり。しかし理事長先生に講演してもらったり、夜遅くまで全国の仲間と交流したりと有意義な企画にすることができました。商科大生協も全国の仲間と交流激されて、仲間づくりの良さを実感することができました。1回生は、学生委員としてこれから自分たちが生協にどう関わって行けばいいのか見通せたように、今後大いに期待したいものです。(小林理事)

奈良高専生協

11月27日に組合員から要望の強かったパスタの試食会を行ないました。この取り組みは、生協推進委員会の学生を中心に学生有志スタッフを募って実施したもので、この企画で集まった組合員を軸に、98年の新入生歓迎行事をすすめ、明るく楽しい生協学生委員会をつくろうと頑張っています。

(疋田 専務理事)

樟蔭女子短期大学

短期大学生協では、大阪との県境い、香芝市にあります。近鉄関屋駅から歩いて5分で着くのですが、小高い丘の上にあるので長い階段を上らなくてはなりません。学生たちは「下界」と言っています。それはさておき……

学生数1,300人、生協の年間事業規模7,000万円。こじんまりした大学の中の小さな生協なので、モットーは、大学と一体になっておもしろいことをやって、もっとおもしろい大学にすること、組合員の要望にはできる限り応えること。腰の軽いのが身上の生協です。

大学が毎年恒例のクリスマスツリー（5mもある本物の樅の木！）を出しました。飾り付けは学生委員とその友達。白のスプレーを10本も使ってサンタさんも書きました。調子に乗って色紙で靴下を作っておいたら、あっという間に壁一面に願いごとが貼り出されました。

「カップスープがのみたい」との一言カード。クノールの粉末スープを仕入れて、箱から小袋

を出して紙コップをつけて1個57円。思いのほかよく売れてます。

11月22日（土）に樟蔭の学生委員会が呼びかけ人になって、奈良の学生委員の交流会を行いました。近鉄奈良駅に集合して、班分してから町の中をオリエンテーリング。「ストリップ劇場の前まで行って出演者の名前を書いてくる」なんていうのもあって、これは評判相半ば。あいにくの雨模様でしたが4大学22人が参加しました。

学生委員の友達に造り酒屋の子がいます。

「おいしい酒粕を分けて」と話していたら、理事の先生が「峠の茶屋をやろう」最初にご紹介した長い階段の途中にある踊り場で、登校する皆さんに甘酒をふるまおうという企画です。だいぶ寒くなってきました。12月9日にやりましたぞ。

（小林理事）



+++++⊕⊕⊕⊕+++++

奈良女子大学生協

おいしかったサンドイッチの試食会

お店で販売するサンドイッチを組合員さんの声を聞いて、よりおいしくしようと、試食会を10月28日に行いました。当日は30名以上の総代さんと友達に参加。メーカーさんの説明を聞いて試食したいサンドイッチにアタック。5点満点の評価も書いてもらい、お店に並ぶのが楽しみ（詳しくは、生協のホームページを御覧ください）

ところで主催者の意に反したのは、当日急拠試食してもらった丼（天井・牛丼・カルビ丼）に試食の人気が集中。11月5日より販売したところ86個が売れ人気を裏付けました。やっぱり組合員の生の声を聞かないといけないと痛感しました。

（小林専務理事）

県連日誌

- 10/2 第2回理事会
26 協同組合フェスティバル
27・28 近畿府県連協議会
29 第3回事務局会議
31 クリーンエネルギーシンポジウム
11/1 環境フォーラム
20 近畿2府7県防災訓練
26～29 列島縦断エコリレー県内リレー
27 第3回理事会・行政協議会
12/3 自然災害に対する国民的保障制
度を求める国民会議国会要請行
動
4 県連責任者会議
7 ノーモア・ウォーのつどい

お知らせ

生協大会

とき 2月14日(土)
ところ 共済会館やまと
内容 講演 「南極の自然と環境
問題」
奈良女子大学 高田将志助教授
(生協理事長)

大和のごっつお展

とき 3月1日
ところ 奈良市中央公民館
主催 食文化研究会

会長賞募集

「リサイクル推進会長賞」「福祉・文化推進賞」についての原稿を募集します。
日頃の活動内容を原稿用紙2枚程度にまとめて県連事務局まで。生協大会で表彰します。
〆切1月31日 賞5万円

編集後記

世はまさにハイテク時代とい
ことで、県連ニュースもパソコン
でのレイアウトとなりました。
編集子もロー(若)と老(老)テクニッ
クでマウスと格闘、大山鳴動して
お疲れ様の年の瀬となりました。
(信)

金融破綻で元本保証でない商品
にまで公的支援、一方、阪神淡路
大震災で生活再建が出来ない被
災者には支援なし。人の命より秩
序優先か？ (俊)

毎年お正月は家族で私の実家の
ある信州で過ごします。冬の信州
は水道の元栓を締めて寝ないと
水道管が凍ってしまふ。ほっぺを
真っ赤にして湖でスケートをし
た寒さが今では懐かしい。長野オ
リンピック会場の雪が心配です。
(鈴)